



発行所  
埼玉県立不動岡  
高等学校学友会  
加須市不動岡  
1-7-45  
電話 0480(61)0140

### 「創立130周年に向けて」

学友会会長 大橋 良一



皆さんは「米百俵」の話はご存知のことと思います。

日本にとって、最大の改革といわれている明治維新。その際に幕府側として戦った長岡藩では戦いに敗れたあと、「国がおこるのも、まちが栄えるのも、ことごとく人にある。食えないからこそ、学校を建て、人物を養成するのだ。」と教育第一主義を唱え、援助米百俵をもとに学校を設立しました。

話がごさいます。紐といてみますと、北埼玉郡立中学校が明治十九年の中学校令により「誠にやむを得ず廃校」となることがありました。それを知った学校所有者である岡戸文右衛門をはじめとする北埼玉地域の有力者たちは、郡立中学校の公売処分書籍器機を購入して私立学校を設置することを考えました。なお、購入費については、私立学校創立のための発起人たちが同士を募り寄付金をあてたそうです。私立学校は廃校後、路頭に迷ってしまうであろう生徒や教師たちの状況を考えての行動です。このような先人たちのお陰で、明

治十九年十一月に不動岡高校の前身である「私立埼玉英和学校」が設立されました。

創立百二十八日目を迎える本年まで多くの卒業生や在校生、教職員の皆様により、絶えることなく不動岡高校の歴史は続いています。

そこで培われた「質実剛健」「文武両道」の校訓と伝統は、目に見えない部分で脈々と受け継がれていることと思えます。期待に違わず、百二十八年の歴史の中で非常に多くの有為な人材を輩出しておることはご存知のとおりであります。

以前、学友会長就任のあいさつの際には、「不動岡高校の卒業生同士、また卒業生と在校生が強い絆でつながること―。」と書かせていただきました。

時代は流れ、新聞やニュース等でも新しい技術や発見が多くなされ、多くのものが移り変わる世の中になっています。しかし、時期は違えども同じ不動岡高校で学んだ者同士、「不動岡魂」を持って、来る百三十周年を迎えられればと存じます。

会員の皆様をはじめ、在校生、保護者の皆様、そして先生方の御活躍をお祈り申し上げますとともに、今後も学友会の活動に一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 学友会とともに

校長 阿久津利明



皆様の母校不動岡高等学校は、今年度第128回生367名が入学し、各学年普通科8クラス

外国語科1クラスからなる全校生徒1098名が、日々、学業・学校行事・部活動の場で若いエネルギーを存分に発揮し、学校全体が活気に包まれています。そして、教職員も常勤81名のうち24名が本校卒業生であり、これもまた県下一の伝統を誇る本校の一面と言えるでしょう。

また、本校の教育目標に掲げられた「明日の世界を創造する品格あるリーダーの育成」と「地域の学習・文化の拠点」の下で、文部科学省によるスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定校、専門学科である外国語科の設置校の利を生かし、本校で学ぶ全ての生徒が「幅広く社会に貢献し国際社会で活躍する人材」となることを目指したり、また、地域や保護者の方々が「不動岡市民大学」（事務局長・第86回生 船川喜正氏）への参加や「華道」「フランス語」に関するサークル活動の拠点となるなど、生徒、保護者、地域の方々から信頼される学校として着実に歩んでおります。

### 教育長に就任して

84回卒 関根 郁夫



本年七月、埼玉県教育委員会教育長に就任した。教育委員会制度見直しの検討が進む只中で

あり、責任の重さを痛感している。

教育とは矛盾した営みである。現在の社会に適應する人間に育てるとともに、現在の社会を変革し未来の社会を創造する人間を育てなければならぬ。グローバル化に対応した教育ということで小学校英語や国際的素養、理数教育の強化などが要請されているが、グローバル化の先も見据えねば、教育を担う者として責任を果たしているとは言えない。

未来は見えない。見えない未来に対応するためには、過去から学び、本質を見つめる必要がある。同調圧力に負けないように、批判的思考を鍛える必要がある。

まずは、過去から引き継いできた日本の教育のよさを再確認したい。授業研究や学校行事、部活動などのよさの上に、改善を積み上げよう。世界が認め、憧れる教育を埼玉の地から作り上げていくと決心した。

### 学友の集い(学友会総会)にご参加ください

恒例の学友の集いを下記のとおり開催いたします。新しく生まれ変わった母校を、ご自身の目でご覧頂きつつ、旧交を暖めて頂けるうえぜひご参加ください。

日時 平成25年11月17日(日)  
午後2時より

会場 埼玉県立不動岡高等学校 不動岡ホール

- 総会議事
- ①平成24年度会務報告
  - ②平成24年度会計報告
  - ③慶祝者表彰
  - ④その他
- 本校OBによるガラコンサート  
懇親会 午後3時半より  
不動岡百周年記念館にて  
懇親会費 3,000円  
(当日受付でいただきます)  
お問い合わせは  
☎0480-61-0140まで

# 現在の不動岡高校

## 不動岡高校のSSH

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）とは先進的な理数教育を開発することを目的に文部科学省が指定するものである。本校は平成23年度、27年度に指定されており、現在は指定3年目である。SSH校は全国で200校程度指定されており、それぞれの学校で研究開発課題を設定し、研究を行っている。本校の研究課題は「事実」から「気づき」そして「探究」へ科学的素養を身につけ、生涯にわたって「科学」に対する意識を持ち、持続可能な社会の創造・発展に貢献できる人材を育成する教育課程・学習指導法の研究」である。具体的な実践内容は以下のとおりである。

①科学的素養（事実を吟味する力、論理的な思考力、合理的な判断力）の育成を旨として、本校の半単単位認定制及び単位制を活かして、SS基礎ステージ、SS応用ステージ、SS発展ステージを設定し、これに基づいて現行の理数教科の質的改善を行い、これを起点として全教科が科学的素養の育成に関わる体制を作ることにより、大学・社会で伸びる力を育成し、科学を媒介として「持続可能な社会の創造・発展」に貢献できる資質を身につけさせる。

②外国語科の指導ノウハウを活かして、国際社会で活躍できる語学力、スピーチ力、プレゼンテーション力を身につけさせるとともに、オーストラリア、中国内モン自治区のそれぞれにある姉妹校との相互研究交流を行うことにより、合理的な判断力を一層向上させ、国際的視野を

有する科学的素養を育む。

③現在の科学系部活動を再編成してスーパーサイエンスクラブ（以下、SSC）を創設し、理数教科の分野に対応した班を設け、生徒が主体的でより深い研究活動を行う環境を作る。また理数系への関心の強い生徒の活躍の場として成果発表会を開催したり、各種科学コンクール等へチャレンジをさせたりする。さらにSSCを核として小中学生対象の理数教室、地域住民を対象とした公開講座など学習ネットワークづくりを推進する。

鈴木 成

## 利根川先生と渡り合う

「日米の教育の違い」という誰もが同じ土俵で考えられるテーマで利根川先生を囲んで代表の生徒とパネルディスカッションをおこなった。利根川先生を迎える生徒の目は輝いていた。パネルディスカッションを聞く中で、自分も意見を、思いをぜひ伝えたいと多くの生徒が感じていた。

それは終了後の記述式アンケートに如実に現れていた。ほとんどの生徒が、自分をさらけ出しつつ、自分の意見を情熱的に表明している。ノーベル賞受賞者である利根川先生に対して、堂々と論理展



利根川進 MIT 教授 (1987)

ノーベル医学生理学賞受賞



開を試みているのである。日本の具象例を挙げ、アメリカと対比させ本気になって挑んでいった。反論すべきところは臆することなく反論する。そのような生徒の変容がまぶしく見えた。このように行動できる素地を不動岡生はもともと持っているのではない。だから、真正面から向き合ってくれた利根川先生のパワーに触れた瞬間、誰もが熱い思いを抱いたのではないだろうか。このSSHならではの貴重な経験は、将来に向けての大きな自信につながるはずである。

武田 敬子

## 文化講演会



山崎直子 宇宙飛行士

平成24年 10月2日(火)、2010年 4月、スペースシャトル・ディスカバリー号

で日本人女性としては二人目となる宇宙飛行に成功した宇宙飛行士の山崎直子さんを講師にお迎えし、文化講演会を実施しました。

「宇宙・人・夢をつなぐ」と題した全



参加者一人ひとりの質問に丁寧に答えていただきました。参加した生徒の感想からは、「山崎さんのように、向上心と好奇心を忘れずに自分の目標に向かって頑張りたい。」といったような今後の高校生活や将来の進路実現に向けて、いい刺激を受けた感想が多くみられました。 櫻田 忍

## 国際交流

今年、オーストラリア、クイーンズランド州のキングガロイ高校と、姉妹校としての17年目の交流となる。6月22日、豪州24人の生徒が、3人の引率教員と共に

不動岡の門をくぐった。前回に引き続きSSH関連事業が盛り込まれ、JAXAと日本科学未来館での研修を行った。両校の生徒の科学技術に対する興味関心の違いについて多くの「気づき」があった。1ヶ月後南半球の地での再会を強く約束し、彼らは、7月2日朝、不動岡を去った。

7月25日から8月7日まで、松本、桜田両教諭の引率のもと、28人の2年生がキングガロイを訪問した。クイーンズランド州立大学での研修がキングガロイ訪問の前後に組まれるようになって3回目となる。「小豆」のテーマでの共同研究では、8月8日、東京大学で行われた学会で、3年生外国語科の2人の生徒（斉藤・千葉）が英語による発表を行った。

もう一つの姉妹校である内モンゴル自治区呼和浩特特許中学に関しては、昨年24人の生徒が訪問し、周年行事に門谷校長が参加し交流を行った。政治情勢が不安定なため、先方からの訪問は見合わせる事となったが、私たちの「草の根」運動ともいえる若者の国際交流は、未来の世界の扉を開く。絶えることのないよう、先人の努力を引き継いでいきたい。

国際理解教育部主任 後藤 範子

## 1学年オリエンテーション合宿

入学式の3日後の4月7日(日)から1泊2日で、128回生オリエンテーション合宿を栃木県茂木町にて実施した。不動岡高校の一員として学校生活や日々の学習方法について研修すると共に、新しい友達との親睦と、クラス・学年の団結を深める目的で行われた。

開校式から閉校式までタイトなスケジ

ユールにもかかわらず、生徒たちは、熱のこもった教員の説明に、仲間作りに、自学自習に、テストにと場面ごと真剣に取り組んでいた。たった一泊だが、新しい仲間と寝食を共にすることで一段と親密度も増した様子うかがえた。また、それと同時に新しい学年を受け持つ教員間のチームワークも格段によくなったと言える。

以下は生徒の感想の一部である。『いろいろな新しい体験も出来たし、新しい友達もたくさん出来たのでとても良かった。そして勉強にとっても意欲がわきました。』

最近では高校入試が終わり、何か物足りない日々を過ごしていました。今回の合宿で心に火が付ききました。何事も不動岡のプライドを持って最後の最後まで頑張っていきたいと思います。』

この経験を今後の学校生活でどう活かしていくか、これから勝負である。

一学年主任 中島 伸幸

### 学校説明会開催

八月二十九日に中学生と保護者、総勢約千人が参加した今回の学校説明会。当日、中庭では応援部の応援指導とDROPSによる応援が行われた。中学生から



は「かっこいい」「踊りがうまくてびっくりした」などの称賛の声が多く上がった。

### 水泳部関東大会出場

今年度水泳部は33名で活動しています。初心者からトップスイマーまで幅広いレベルの選手がいますが、マネージャーも含め全員高い意識で練習に取り組んでいます。大会では記録の向上が毎回多数見られ、最近では決勝に残る者や入賞者も出てきました。

その中で、6月下旬に行われた学校総合体育大会県水泳競技大会において、女子50m自由形・土田菜夏実(3年)および男子200m背泳ぎ・渡邊勇輝(2年)が入賞を果たし、併せて関東大会標準記録を上回り関東水泳競技大会への出場権を得ました。レベルの高い埼玉県からの出場は快挙です。

今年度の関東大会は埼玉県開催で7月22日〜24日に行われました。出場した2名とも全力を尽くし、県大会時の記録を大きく上回る力泳を見せてくれました。この活躍は不動岡高校水泳部にとっても大きな励みになりました。今後も高い目標を掲げて、水泳部全体として日々精進していきたいと考えています。

水泳部顧問 松本 裕行

### 関東高校陸上選手権大会

六月十四日から埼玉県熊谷市で開催された関東高校陸上競技選手権大会に長利勇希(三年)が棒高跳で竹田一平(二年)が一〇〇mで松本実樹(三年)が走幅跳で出場を果たしました。何とか三名とも

六位以内入賞、全国大会出場権獲得を目標に取り組みましたが、残念ながら棒高跳は四m五〇で八位、一〇〇mは一〇八九で準決勝、走幅跳は五m二三で一〇位という結果でした。納得のいく結果ではありませんでしたが、この経験を今後にかかして行ってほしいと思います。今後もご理解とご支援の程よろしくお願ひ致します。顧問 小堀泰代・倉科 淳

### 山岳部 関東大会

このたび山岳部2学年の星野、高橋、黒濱、石川君の4名は、11月に神奈川県黒根で開かれる関東高等学校登山大会に参加することとなりました。山岳部はこの127期生が入学した時、2学年の部員が0人という状態でした。ですから、5月に3年生が引退した後、計画書を作成し、すべての装備を背負うという活動を新入生だけでやっていけるか心配されました。しかし幸いにも新入生たちは、山に登りたいという意欲、自主性、自然を楽しむ心、体力などに恵まれ、この約1年間をチームワークよくしつかりとやり通すことができました。さらに今年5月の学総体埼玉県予選では、体力、技術、マナーなどの取り組みに高い評価をいただき、今回の結果となりました。関東大会では、伝統ある不動岡高校山岳部の名を汚すことないよう全力で頑張るとともに、多くの山の友を作り、自然に親しみ、登山の楽しさを十分に味わって来たいと思います。

山岳部顧問 利根川 哲

### 全国大会に参加して

長崎で開催された第37回全国高校総合

文化祭(新聞部門)に一年生二名二年生一名と参加させていただきました。まずは、連続する全国大会の出場を今年もつなぐことができ本当によかったというのが正直な思いです。不動岡の新聞部がいただいた賞は、「全国高校新聞紙面審査優良賞・文化連盟賞」というものでした。残念ながら、最優秀賞と優良賞には選ばれませんでした。埼玉県では越谷北高校が優秀賞をいただきました。

次に大会の内容について、少しご報告したいと思います。大きく言うと、「表彰」などの行事と「交流新聞作り」という二本立てになっています。「交流新聞作り」は、大会運営者によっていくつもの取材コースが設定されます。高校生をランダムに班分けし、取材にも行き、実際に新聞を作成するというものでした。ハイレベルな新聞部員たちが、さらに切磋琢磨し、その後の実践に生かせるという内容でした。充実した参加となりました。

新聞部顧問 富澤 滋

### 埼玉県吹奏楽コンクール

八月一三日、吹奏楽部は埼玉県吹奏楽コンクール高校A部門県大会に出場。銀賞を受賞した。新部長鶴田美幸さん(二一三)は「先輩方の努力が結果となり現れたので嬉しい。今までの恩返しのためにも成長した姿を見せられるように頑張りたい」と話した。

吹奏楽部

### 高校生シンポジウム参加

八月八日東京大学で開かれたプラズマ核融合学会高校生シンポジウムで化学部の齋藤正幹くん(三一九)千葉雄登くん

(三一九)が小豆の色素の研究で奨励賞を獲得した。千葉君は「出場できてうれしい」齋藤くんは「先生方、ご協力ありがとうございました」と喜びを語った。

SSC化学

### 同窓会NEWS

#### 同窓会 一九年ぶりの再会

去る五月二五日、さいたま市の「タバス大宮」に、昭和五九月三月卒業の九二回生三年五組の同級生が集いました。これは、当時担任としてお世話になった内田 徹先生が今春浦和第一女子高校校長を最後にご退職を迎えられ、先生のご退職をお祝いするとともに、この機会に同窓会を開催する運びとなったものでした。

前回は卒業後四年目、今回はそれ以来の二九年ぶりの再会でした。当日は同級生五〇名のうち二〇名が顔をそろえました。卒業後の進路は様々で、母校にて教鞭をとり日々後輩の指導に汗を流すもの、また、県内各地の小中学校の教職に就き卒業生を母校に進学させているものも多数でした。それ以外でもお嬢様同士が母校で同級生だったり、不動岡高校を通じての結び付きはとても強いものだなと感じました。

時空を超えて高三生に戻った我々の話は尽きず、場所を変えての二次会も夜が更け、最後は三年後の再会を固く誓い、散会しました。

#### 86回生同窓会のご案内

日時：平成25年10月27日午後3時より

場所：不動岡百周年記念館

※同窓生の皆さまふるってご参加下さい

### 学友会 ホームページを リニューアル しました

学友会のホームページってあったの?とお思いの方、ぜひ不動岡高等学校のHPから学友会をクリックしてみてください。  
<http://gakuyu.fudooka-h.ed.jp>

120周年記念名簿に基づいて確認させて頂きましたが、この他に慶祝者にあたる方がいらっしやいましたら、自薦他薦にかかわらずご連絡下さい。

101	94	94	93	93	93	92	91	91	90	90	89	88	88	88	84	83	78	73	72	71	64	62	
駒場 慎一	増田 正夫	石井 宏明	鳥海 一寿	中居 武司	杉田 勝	服部 幸司	柿沼 耕一	田中 健寿	金子 孝雄	羽田 邦弘	武正 章	柿沼 清史	根本 要	白根 郁夫	関根 薫	松岡 進	塚田 喜三	岡田 幸敏	関口 明久	長谷川志づ枝	小嶋 悦雄	森井 信行	
東京理科大学理学部第一部 応用化学科教授	羽生市立羽生北小学校校長	加須市立鴻茅小学校校長	加須市立元和小学校校長	行田市立北河原小学校校長	鴻巣市立広田小学校校長	羽生市立南中学校校長	行田市立太田東小学校校長	杉戸町立広島中学校校長	久喜市立栗橋南小学校校長	進修館高校校長	越谷総合技術高校校長	スターダストレビュー	宮代町立宮代東小学校校長	県 教育長	県職知事局局長級公営企業管理者	瑞宝単光章	瑞宝双光章	瑞宝双光章	瑞宝双光章	瑞宝双光章	瑞宝双光章	瑞宝双光章	瑞宝双光章

### 平成25年度 慶祝者名一覽

(敬称略)

### 二〇一三年度の入試結果

2013年度入試の特徴としては、①センター試験の平均点大幅ダウン。900満点集計で、文系で40点、理系で34点低下。②国公立大志願者の減少。センター試験平均点低下の影響か。③国公立大後期日程出願者減少。後期日程廃止で出願校選択の幅が狭まったため。④国公立大、難関大、地元大志向の強まり。大学淘汰の時代を迎え、大学間格差が拡大し二極化が進み、また、厳しい経済状況下で学費・就職状況から大学を選択していること、少子化により身近に子どもを留めておきたい保護者の意識などが影響。⑤文低理高・資格系人気継続、の5点があげられる。

本校の入試結果は、国公立大学合格者が90名、昨年より4名減少したが、連続して合格者が90名となったのは大きな成果であった。

国公立大学では東京工業大学1名の合格の他に埼玉大学29名、筑波大学9名、千葉大学8名、お茶の水大学3名と首都圏・地元大学の合格者が増加した。さらに、東京医科歯科大学2名、東京芸術大学1名、東京外国語大学3名、東京学芸大学4名、宇都宮大学6名、群馬大学5名など首都圏の大学に多くの合格者をだした。

私立大学では、早稲田大学29名、慶應義塾大学6名、上智大学15名、明治大学48名、立教大学54名と難関私立大学の合格者が増加し、私立大学全体でも延べ800名を超える合格者が出た。

本校では、授業の充実に努めるとともに、早朝・放課後・長期休業中の課外補習等の受験指導体制を整え、学力向上をはかり、現役で第一志望大学に合格できるように指導している。ご支援のほどよろしく申し上げます。

進路指導主事 齋藤 勤

### 過去3年間の合格者数(現浪計、私立大学は延べ人数)

大学名	2011年度	2012年度	2013年度
小樽商大		1	
北海道大		1	
東北大	2	1	
茨城大	1	2	1
筑波大	4	7	9
宇都宮大	3	14	6
群馬大	1	4	5
埼玉大	24	22	29
千葉大	3	3	8
東京海洋大		1	2
お茶の水女子大		2	3
電気通信大	1	2	
東京大	1		
東京外大	2	5	3
東京学芸大	3	8	4
東京工業大	1	1	1
東京農工大	1	2	1
新潟大	1	1	2
金沢大		1	
静岡大		1	2

大学名	2011年度	2012年度	2013年度
名古屋大	2		
大阪大		1	
長崎大		1	
埼玉県立大	7	9	7
首都大東京	3	3	1
横浜市立大	2	1	
その他	10	0	6
合計	72	94	90

大学名	2011年度	2012年度	2013年度
獨協大	19	42	33
文教大	34	31	29
青山学院大	17	22	13
学習院大	12	18	19
北里大	2	12	11
慶応大	14	3	6
国学院大	8	11	7
国際基督教大			2
駒澤大	20	22	12

大学名	2011年度	2012年度	2013年度
芝浦工大	33	31	16
上智大	8	11	15
成蹊大	11	11	8
成城大	18	13	12
専修大	9	11	6
中央大	27	23	27
東京家政大	11	15	28
東京理大	26	37	23
東洋大	75	62	74
日本大	46	54	57
日本女子大	13	15	16
法政大	55	51	47
明治大	54	45	48
明治学院大	17	24	10
明治薬大	5	10	6
立教大	48	45	54
早稲田大	32	20	29
その他	222	258	270
合計	836	897	878

職名	氏名	教科	前任校(前勤務先)
校長	阿久津利明	理科	県立学校人事課
教頭	利根川典子	英語	熊谷西高校
教諭	西村 隆史	理科	栗橋北彩高校
教諭	測上 篤	保体	鷺宮高校
教諭	山下 泰寛	英語	幸手高校
教諭	曾山なつみ	英語	新採用
養護	大久保 馨		玉川工業高校
教諭	神山登美枝	英語	久喜北陽高校
教諭	小堀 博子	英語	鷺宮高校
教諭	長谷川和清	理科	川口東高校
教諭	岩崎 敦史	理科	上尾鷹の台高校

職名	氏名	教科	転出先
専員	武藤 芳雄	事務	伊奈学園総合高校(非常勤)
教諭	小貴加壽子	理科	浦和高校
教諭	若松 謙介	数学	明治大学大学院
教諭	大久保美花	国語	久喜北陽高校
教諭	福田 満	公民	越谷東高校
養護	小俣絵里奈		越谷南高校
教諭	石神 英徳	保体	越谷南高校
教諭	平山 智司	英語	小川高校
教諭	野口 宏	英語	上尾南高校(再任用)
教諭	渡邊 文彌	理科	市立仙台商業(非常勤)
教頭	中村 光男	英語	栗橋北彩高校校長
校長	門谷修二郎	国語	春日部高校(再任用)

職名	氏名	教科	転出先
本多 隆紀(75回卒)	S 62・4	H 14・3	本校勤務 逝去
前田 伴一	S 19・4	H 25・5	本校勤務 逝去
鎌田 貞一(66回卒)	S 34・9	H 24・10	本校勤務 逝去

### 人事異動

#### 転出・退職